

エクステリア情報誌 秋号

EX.VIEW

EXTERIOR
VIEW
2004・Vol.22

INDEX

2004年 秋号・Vol.22

1-2
Exterior Color Seminar
大地からの贈り物… 秋色

3-8
事例ノート

9-13
エクステリア施工コンテスト
入賞店発表

14-16
スーパー御庭番の
達人たち

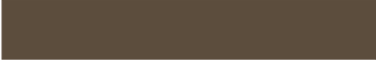











17-18
2004 秋 新商品情報

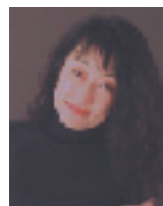
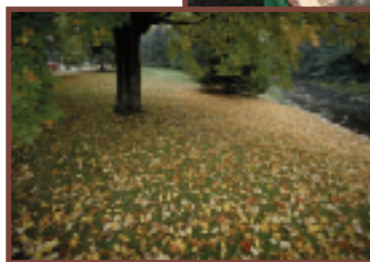


Exterior Color Seminar

色は時代をものがたる 西島 幸子氏

大地からの贈り物… 秋色 Harvest Color

	・ 椀皮色(ひわだいろ)		・ 小麦色(こむぎいろ)
	・ 朽葉色(くちばいろ)		・ ブロンド
	・ 柿色(かきいろ)		・ オークブラウン
	・ 煉瓦色(れんがいろ)		・ チェスナット・ブラウン
	・ 柿茶色(かきちゃいろ)		・ マホガニー・ブラウン
	・ 桑茶色(くわちゃいろ)		・ 栗皮色(くりかわいろ)



■ COLOR WORKS

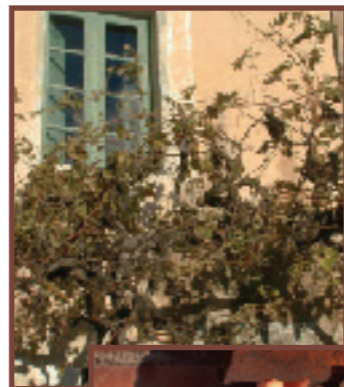
西島 幸子 (Nishijima Sachiko)

化粧品会社制作部でパッケージデザイン、デザイン会社等でカラー・パッケージデザイナーを経て1995年、COLOR WORKS設立。色を切り口とした商品企画・パッケージデザイン・カラープランニングを手がける。

(社)日本パッケージデザイン協会会員
(財)日本色彩学会会員
(社)日本流行色協会会員

著書：COLOR WORKS
花と色のメッセージ 誠文堂新光社

所在地：東京都目黒区自由が丘1-21-7



秋をイメージする色と言えば、
ハーベストカラー。

ハーベストとは「収穫」という意味ですが、実りの秋の豊かさ、秋に採れるおいしいものを連想させる色です。日本人の私達にとっては、田んぼに波打つ稲穂の色もハーベストカラーだといえば、わかりやすいかもしれません。ハーベストカラーを色相でいうとそのほとんどが、Y/Yellow(黄)とR/Red(赤)の間の色、YR(橙)です。この橙が、明るくトーンを変えるとベージュに、暗いトーンに変わるとブラウンになります。栗などの木の実、きのこ、里イモやハロウィンのカボチャ、蜜柑、柿といった果物、これらの色相はYR。YRとは、どうやら人間にとって「食べて安心ですよ」というイメージを発する色のようなのです。ファストフードのサインやインテリアに赤やオレンジ色が多く使われているのは、目立つことや楽しいイメージだけでなく、「安心」で「おいしい」をお客様に印象づけるため。もっとも最近では、カジュアルからナチュラルや本物志向を意識してグリーンやブラウンを使うお店も増えてきているようですが…。

私たちに一番身近なハーベストカラーは
木肌の色です。

チーク・ナラ・オーク・紫檀・キリなどの木肌、土を焼いたレンガもYRの仲間です。私たちの肌の色もYR。「雪のように白い肌」「小麦色に焼けた肌」「ブロンズ色の肌」など、肌色の表現は数限りなくあります。また、日本の伝統色にも茶系は多く、先人達は紅葉が朽ちる様を黄朽葉(きくちば)赤朽葉(あかくちば)青朽葉(あおくちば)濃朽葉(こきくちば)薄朽葉(うすくちば)…など「朽葉四十八色」で表しました。肌といい、葉の色といい、ほんとうに微妙な色の違いをこうまで感受できるとは…。それだけ奥深い色ということなのでしょう。

2004年度のAUTO COLOR AWARDS(オートカラーアワード)のエクステリア部門でグランプリを受賞したのは、ニュービートルの「ハーベストムーンベージュ」。ファッションカラー賞には、日産マーチのショコラが選ばれました。くるまのインテリアに茶系が使われることは多くありましたが、ボディカラーにおいても日産キューブ・シーマ・BMW-X5など様々なブラウン・ベージュが注目されています。

身の回りに多くあり、トーンによってカジュアルにもリッチにもなるハーベストカラー。

ファッション的には配色によってセンスを問われる!?なんてことも…。派手さはないが成熟したオトナの色として、ブラウンを着こなせたらファッション上級者になれることまちがいないです。

住宅街のショッピングモール

ひとつひとつが微妙に違う色のれんが、石の床、塗り壁、鋳物の門扉。住宅にも使われる素材と色です。街路樹や周辺環境とも調和し、安心感・穏やかさを感じるのには、ハーベストカラーのコーディネートの魅力です。



「ガーデンEX部門 最優秀賞」

高知県 高知市
幸創建設株式会社様

住宅+エクステリアをトータルに提案、
統一感のある空間づくりが自慢です

平成2年に創業した当社は、住宅からエクステリアまで、住空間をトータルに提案するハウス+エクステリアメーカーです。

スタッフは社長以下営業4人、工務3人、設計1人、事務1人、派遣社員1人です。注文住宅が中心で、年間30棟前後の実績があります。住宅に関しては、外断熱工法を採用していて、多少コスト高になりますが、これだけは当社のポリシーとしてご理解いただいています。実際にお住まいになったお客様には、冬は暖かく夏は涼しいとご満足いただいています。



取締役・営業部長 池田高彦様

エクステリアの設計施工は、外部の専門スタッフとパートナーシップを結び、二人三脚で進めています。住宅もエクステリアも当社でトータルにプランするため、デザインや素材・仕上げなど、住まいと一体化した統一感のあるエクステリアが出来るのが強みです。それに、打ち合わせの最初の段階から、住宅と一緒に話を進めていきますので、エクステリアの予算も確保しやすいですね。

営業活動としては、大型団地が造成されるとき、モデルハウスを置かせていただきPRしています。最近では常設の住宅展示場にもモデルハウスを出しています。また、以前から地元テレビにCMを流していて、「ああ、コマーシャルで知ってます」などと、かなり認知されてきているようです。アフターサービスは、定期点検にはもちろん「お客様から電話が鳴ったらすぐに対応する」ことを常に心がけています。

お客様は素人ですから、ご希望をこちらがしっかり理解し、それをよりよいカタチにして提案することが大切だと思っています。お客様のイメージに合ったものができあがり、満足していただけたときが一番やりがいを感じますね。

エクステリアのパートナー・株式会社外装様

工務店様との信頼関係で
協力しながら
お客様のイメージを実現



パートナーとしてエクステリアの設計施工に協力する
株式会社外装様 営業担当 岡村則昌様

幸創建設様が手がける住宅のエクステリアの設計・施工をさせていただいています。お客様のご希望をもとに、営業担当の方と何度も打ち合わせを重ね、お客様との話し合いにも立ち合って当社デザイナーにイメージを伝えイメージパース図面としてプランを練り上げていきます。幸創建設様とは信頼関係がありますし、「お客様のイメージ通りの、本当に良いものをつくりたい」という気持ちが互いに強いので、妥協せずいろいろと意見を交換しますね。それが良いエクステリアづくりにつながっていると思います。



【門まわり】
門扉とフェンスは「アルティーク」手前の手すりには「エトランボ」。諸物風の風合いが、レンガや塗り壁と見事に調和しています。お客様が希望された門柱のアーチが印象的。



【アプローチ】
やさしい曲線を描いたアプローチが奥行き感を。浸水性の砂利を使用したため、すべりにくく安心です。

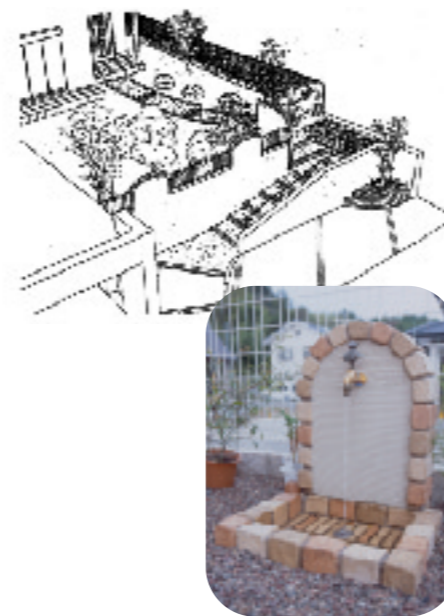


【全景】建物とエクステリアが見事にトータルコーディネートされ、風格を感じさせる住まいに。

M様邸

ガーデンEX部門 最優秀賞受賞作品

お客様からのご希望は「家の外観と統一感のあるエクステリアに」「門柱はやさしいアーチに」「石やレンガを使ってほしい」など。そこで、エクステリアの外壁は住宅と同様にテラコートで仕上げ、レンガでフチ取りして、建物とコーディネートしたデザインに。そして鍛造調鋳物門扉・フェンスや手すりが、雰囲気ぴったりマッチしています。庭は草取りをしなくてすむように、ベージュ系の碎石を敷きつめました。デザイン、素材、色合い、すべての面で住まいとエクステリアに統一感があり、バランスも絶妙で、「思い通りの家ができたとお客様も大満足とのことです。



【玄関】
玄関の床にはテラコッタを採用。さまざまな石の使い分けが、建物の表情に深みを。



【庭から門を見る】
庭には碎石を敷き詰め、花壇の部分だけ土を残したため、メンテナンスが楽。かわいい小物たちがガーデンを演出しています。

「新世代向け部門 最優秀賞」

愛媛県今治市
LIFA今治様



アドバイザー 真木一信様

お客様宅で開催する
「オープンガーデン」で集客、
独創的な素材使いやデザインが自慢です

当社はエクステリアとリフォームの2部門で操業しています。オープンした10年前は、まだエクステリアの専門店が少なく、お客様をどう増やすかを考えるうちに、「オープンガーデン」という方法を思いつきました。これは、当社で手がけたお宅の庭を1日お借りしてお客様を集め、出来上がったエクステリアを見ていただくというイベントです。今まで施工したエクステリアの作品パネルを展示したり、かき氷やさぬきうどんなどをふるまったりして雰囲気盛り上げ、来場されたお客様には無料でプランと見積もりをお出ししています。会場を提供いただく施主様も、自分の庭をお披露目できるので、たいいてい快諾してくださいますね。

この「オープンガーデン」を続けることで、施主様との直接契約が多くなり、現在はそういったお客様が7割、ハウスメーカーが3割ぐらいの割合で仕事をしています。さらに地元のタウン誌に広告を載せていることも効を奏して、地域での知名度がだいぶ上がってきたという実感があります。

スタッフは社長、店長に、営業2人、プランナー2人、工務1人です。プラン作成には御庭番を使っていますが、精緻なタッチでお客様への説得力がありますね。今治市を中心に、現在月5件前後を手がけています。

親会社が建材を扱う会社なため、建材には強く、石やレンガも珍しいものをよく使いますし、デザインや使い方もひと味違う、当社だけのオリジナリティに自信を持っています。ですから、お客様からも「よそにない個性的なデザインがいい」「遊び心があって楽しい」といったお褒めをよくいただきます。また、若いお客様も増えていきますので、塗り壁を多くして石の使用を減らすなどコストダウンの配慮もして、低予算でも美しく見える工夫をしています。

今後も、新しい素材やデザインにどんどんチャレンジして、人真似でない独自の発想を磨き、お客様に喜んでいただけるようなエクステリアをつくっていききたいですね。



【アプローチから玄関へ】
天然石の乱張りに砂岩のピンコロ石で縁取り、という組み合わせが新鮮なアプローチ。玄関ドアも、やさしい木の風合いが印象的です。

【アプローチから門へ】
中のアプローチから門の方を見たところ。門扉「ナチュラル」とのコンビネーションも絶妙。

【駐車場】
コンクリートだけで殺風景なので、2色のレンガと芝生で円形と十字を描いておしゃれに変身！

【全景】
石や木を要所要所に使い、ナチュラルで若々しい雰囲気。建物とのバランスも絶妙です。

M様邸

新世代向け部門最優秀賞受賞

「オープン外構に、でもきちんとした門はつくりたい」というお客様のご要望を受けて、門扉には「ナチュラル」を採用。石や木を使ったナチュラルな雰囲気ぴったりマッチさせています。レンガをたくさん使うとコストがかかるので、レンガ塀と塗り壁の塀を組み合わせ、若々しくライトな感覚に仕上げています。レンガの積み方を変えてみたり、フチに珍しい砂岩のピンコロ石を使ったり、「よそではできないオリジナリティ」がここでも随所に発揮され、ひと味違うエクステリア空間に。また、駐車場はコンクリートを打つだけで…というご希望でしたが、それでは殺風景なので、2色使いのレンガと芝生で模様をアレンジ。これだけのことでおしゃれなスペースになり、お客様も喜ばれています。

F様邸

F様はオープンガーデンにきていただいたお客様でした。ご要望は「低いレンガ塀で家の基礎を目隠してほしい」「和室の前に小庭がほしい」など。そこで「ただレンガ塀をつくるのでは面白くない」と、塀に微妙に高低をつけることで奥行きを感じさせ、同時に遊び心も演出。和室前のスペースは、和室の窓から眺められるようにシマトネリコの木を植え、手前はゲスト用の駐車場に。限られた空間を十二分に活かしています。



【テラス】
ベランダ園芸を楽しみたいと、掃き出し窓の前にタイルデッキを。デッキの屋根は「ナチュラルテラス」を採用。



【アプローチ】
左右で異なる門のデザインが面白く、右側の門柱が全体のアクセントに。アプローチは透水性の砂利を敷き詰めて歩きやすく。



【駐車場】
限られたスペースを効率よく使って、奥は和室前の庭、手前は駐車場に変身。



【全景】
折れ曲がって続くレンガ塀は、高さがナナメに変化しているのがポイント。職人さん泣かせのデザインですが、遊び心満点でお客様からも大好評。

「プレゼンテーション部門 最優秀賞」

岡山県岡山市
ケイ・プランニング有限会社様

エクステリア商材の卸会社が母体、
豊富な商品知識をベースに
お客様の希望にキメ細かく応える

エクステリアの商材卸をして
いた会社が、5年前に分かれ当
社が誕生しました。そのため、
エクステリアで使う素材や小
物類の商品知識は豊富で、そ
れをもとに、お客様のどんな
ワガママにも応えられる、自
由なプランニングをめざして
います。

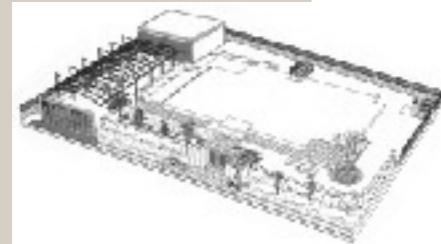


設計・営業担当係長
橋本 守一様

スタッフは役員以下、設計兼
営業が3人、工事管理兼営業が3人。営業と設計の両方をこなすのは
大変ですが、お客様と話し合ったことを、間に人が入らず、そのまま
図面に反映できるので、かゆいところに手の届くキメ細かいプラン
ニングが出来ていると自負しています。さらに、お客様の求めているも
のと、自分たちが持っている知識や情報が、その場でどんどんリンク
するので、ホットなものを提供していけるというメリットもあります。
それに図面描きは「スーパー御庭番」が2台あり、早くきれいな絵が
描けるので助かっています。

商圏は岡山市、倉敷市が中心ですが、県内ならどこでも行きますし、
県外も赤穂市まで行きます。内訳はハウスメーカーが8割、エンドユー
ザーのお客様が2割ぐらいですね。

つねに心がけているのは、たとえ時間がかかっても「最初のヒアリン
グを大切に」ということです。そこでお客様の好みをしっかり把
握できれば、後々スムーズにやりとりできるようになりますので。
デザイン上で大切にしていることは、「全体のバランス」です。門や
フェンスの高さ、色、素材感が住まいと調和できているか、グリーン
の配分はどうか。とくに門と家との視覚的なバランスは家の印象を左
右しますので、いつも苦心するところです。素材はさまざまなものを
使いますが、3年ほど前から当社が独自に採用している「型押しコン
クリート」はおすすめです。施工が簡単で、天然素材と比べてコスト
が格段に安く、しかも天然素材にかなり近い風合いなもの魅力です。
石材風のものが多いなかで、枕木風のものも好評で、4台分の駐車場
の床をすべて枕木風の型押しで仕上げた例もあります。



【テラス】
天然石を乱張りしたテラス。
お子さんが遊んだり、バーベキューをしたり、一家のくつろぎスペースに。



【堀越しに庭をのぞく】
ウエーブの低いところから、
庭を見る。このオープン感覚が
また魅力。

【アプローチ】
飛び石ふうの石が置かれたアプローチ。
庭は砂利敷き。「草むしりの手間は
省けたけど、子供が腕白盛りなので、
砂利を蹴っては跳ね上げるんですよ(笑)」
と奥様。



【全景】
大きな屋根に映えるダイナミックなエクステリア。
4台留められるカーポートは「ニューエクモア」
ゲートは「ニューサイドレ」を採用。



【全景】
ナチュラルでややクラシカルな家としてしっくり
調和したエクステリア。塀のなだらかなウエー
ブが、遠くの人をやさしく包み込んでいます。カー
ポートは「マリドワイド」、ゲートは「エ
クモア3型・ワイドタイプ」を採用。

F様邸

プレゼンテーション部門最優秀賞受賞

窓枠や扉に天然木をあしらい、マンツルピースや曲面瓦がアクセントになったナチュラルテイストの家。その家の雰囲気合ったエクステリアを…というのがお客様のご希望でした。そのため、家の外観に使われた塗装や天然石の乱張りを塀やアプローチにも採用。アンティークな雰囲気の門扉も印象的で、住まいと一体感のあるエクステリアが実現しました。ウエーブ状に高低をつけた塀は、オープンガーデンの雰囲気を失わずに、道と庭とをやさしく区切っています。テラスは平日はお子さまの遊び場に、休日にはお子さまの友達のご家族も呼んでバーベキューパーティを楽しんだりも。



【門扉アップ】
レンガの門柱と乱張りの床が印象的。
門扉「アルディーク」がレトロな雰
囲気を演出しています。

U様邸

「天然石と緑をふんだんに使って」「駐車場は4台分+ゲスト1台分」「お年寄りもいるのでステップの踏み幅は広く」というお客様のご希望に沿って、門柱は御影石を特注で切り出したものを使用。左右に伸びたフェンスと植栽も見事で、門柱だけが目立つことなく、バランスよく納まっています。植栽はサツキとオオムラサキでこんもりと仕立て、フェンスに沿ってベニカナメを植えています。この素晴らしいエクステリアで、岡山県認定の「緑の街並み賞」を受賞。この賞はおもに公共施設などが対象で、個人のお宅が受賞するのははじめてだそうです。

【エクステリア・寄り】
門柱の天然石と、フェンスの前に植えられたツツジの緑が美しく調和しています。

【門】
存在感のある御影石の門。門扉は「モンプレム」を採用。石づくしの重厚な雰囲気にぴったり合っています。

【庭】
庭には砂利を敷き詰めて、ちょっと枯山水風に。灯籠は以前の庭に置いてあったものです。



2004
EXTERIOR
DESIGN
CONTEST



A部門 新世代向け部門

最優秀賞 LIFA今治 様

壁面立体構成、緑化、レンガ袖壁に「ナチュレ」門扉が自然テクスチャの表出に効果を出している。両側手前の植栽マスも良い。



B部門 U.スタイル部門

最優秀賞 中村設計 様

住宅プランニング全体に「U.スタイル」が大きな影響を持たせた好例である。「U.スタイル」のフレームが庭と玄関前をまたぎ、吊り屋根が空間をつなぐ。その空間デザインを最大限に生かした秀作と言える。



C部門 アーバングレー部門

最優秀賞 SKハウジング 様

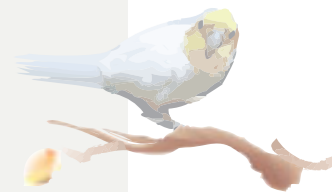
「F-1カーポート」が実にダイナミックな片持ちカーポート屋根となっている。同じUC色のガレージ扉とのシャープ感は、脇のイエローウォーカーの門柱に更に助けられている。



D部門 リフォーム部門

最優秀賞 グリーン京阪 様

よくある古い門廻りの改修例であるが、門扉「カムフィ」に合わせた竹の御簾垣風の袖パネルは、フロントを広く見せ、これに花鉢のハンギングは街並みに彩を与えており秀逸。



2004
EXTERIOR
DESIGN
CONTEST

E部門 ガーデンEX部門
最優秀賞 幸創建設 様

アールのついた壁面上部に「アルティーク」フェンスが取り付けられている。床面の「ナチュラル」でアプローチを締めている。なかなか魅力のある作品である。



F部門 ウォールEX部門
最優秀賞 水田工務店 様

住宅フロント部の立体活用例として、実に使いやすい機能性と道路側に生活空間を突出させたことがかえって街並みに高感度を与えている秀作である。



G部門 建築外構部門
最優秀賞
小岩金網
北関東営業所 様

宮内庁の御陵牧場内試験場の出入りゲートは、重々しくダイナミックなデザインとして存在感を表わしている。

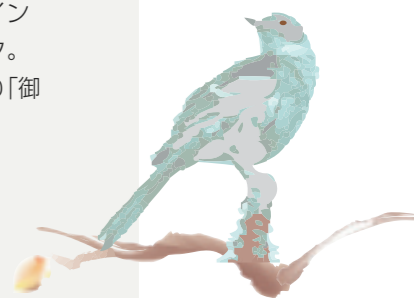
H部門 工木景観部門
最優秀賞
山建開発 様

通常、河川ダム壁の上部歩道は、荒っぽくなりがちだが、このケースはアップダウンの線形も手伝ってアルミの手すりが実に繊細で美しいデザインを創っている。



I部門 プレゼンテーション部門
最優秀賞
ケイ・プランニング 様

カーブする築地塀のスペイン風天端瓦と門柱がユニーク。これも外構設計をしっかり「御庭番」で行った成果か。



入賞店一覧 (敬称略)

A 部門 新世代部門	
最優秀賞	LIFA今治
優秀賞	(株)太陽ハウジング
優秀賞	(株)堀越建設
入賞	富士和工業(株)
入賞	(有)サフラン
入賞	(株)鈴彦
入賞	グリーン徳島(株)
入賞	(株)中川建材

B 部門 Uスタイル部門	
最優秀賞	(有)中村設計
優秀賞	(株)トップ・アート
優秀賞	ミサワホーム中国(株)倉敷支店
入賞	丸山住設
入賞	積和建設両毛(株)小山市事業所
入賞	住友林業緑化(株)神戸営業所
入賞	和田建設
入賞	四国プレコン(株)

C 部門 アーバングレー部門	
最優秀賞	(株)SKハウジング
優秀賞	住友林業緑化(株)つくば営業所
優秀賞	(株)景匠館
入賞	(株)春光園
入賞	株式会社永江庭園
入賞	東都住宅株式会社
入賞	(有)パテオ緑建
入賞	住友林業緑化(株)高松(営)徳島店

D 部門 リフォーム部門	
最優秀賞	(株)グリーン京阪
優秀賞	(株)アルコア
優秀賞	(有)モリモト
入賞	(有)ガーデンクラフト
入賞	グリーンテクノ積和(株)
入賞	株式会社タケシタホーム
入賞	アベ建材株式会社
入賞	十和田興業(株)

E 部門 ガーデンEX部門	
最優秀賞	幸創建設(株)
優秀賞	(株)ウッディウォール
優秀賞	アベ建材株式会社
特別賞	(株)大興
入賞	(株)アウトテリアホーム
入賞	(株)中央住宅マインドスクエア事業部
入賞	住友林業緑化(株)岐阜営業所
入賞	須川屋 西川藤右衛門商店

F 部門 ウォールEX部門	
最優秀賞	(有)水田工務店
優秀賞	(株)井上リライアンス
優秀賞	富士工営(株)
入賞	(有)創美
入賞	有限会社成田建材店
入賞	三友商会
入賞	エクステリア友輝
入賞	丸高産業株式会社

G 部門 建築外構部門	
最優秀賞	小岩金網株式会社 北関東営業所
優秀賞	伊勢屋金網工業(株)
優秀賞	(株)三友防府営業所
入賞	(有)高橋工務店
入賞	(株)エクステリア興和
入賞	鳥井株式会社
入賞	(株)梶梅ガラス
入賞	(株)三協商会 米子支店

H 部門 土木景観部門	
最優秀賞	山建開発(株)
優秀賞	日鉄建材フェンスエンジニアリング(株)
優秀賞	昭和建設(株)
入賞	(株)東北工商
入賞	成田日軽建材(株)
入賞	(有)ワークシップ
入賞	石原テクノ(株)
入賞	佐藤工務店

I 部門 プレゼンテーション部門	
最優秀賞	ケイ・プランニング(有)
優秀賞	(有)横山工業
優秀賞	有限会社エクステリアウチャマ
入賞	富士工営(株)
入賞	株式会社ミスターホームサービス
入賞	(株)アルコア
入賞	(株)エクステリア山下
入賞	(株)サネフジ

第21回 エクステリア 施工コンテスト

全体講評 審査委員長 猪狩 達夫氏

今年も3,600点もの全国から寄せられた施工済現場例の中から「無印良品」が選ばれた。年毎に、デザインセンスのアップ傾向が感ぜられる。入選作品にはそれぞれ、緑ないし自然感材をあしらいつつ、空間の流れ、躍動感の表出そして背景となる住宅建物の壁面の色、材質をつねに意識した設計姿勢の一端がうかがえる。

今年は特に床面、壁面とも曲線の使い方も巧みになり、当社商品がよく環境に調和しこなれてきた。ここで、住宅・パブリック共に「生活に潤い」と「街なみ貢献」度の高いものが「無印良品」といえよう。

日本は今政府で「新5全総※」「ガーデンアイランド計画」で美しい街なみづくりを推進している。いよいよ本格的エクステリア時代が始まろうとしている今日此の頃である。

※ 第5次全国総合開発計画 (国土審議会)



猪狩 達夫氏 プロフィール

東京都世田谷区生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業、カナダトロント大学建築学部大学院終了(マスターオブアーツ取得) グリーンタウン高尾の基本設計をはじめ集合住宅地計画・街なみ設計等幅広く活躍中。昨年「第2回人間サイズまちづくり賞」受賞。現在(株)イカリ設計代表。エクステリア&ガーデンアカデミー学長。著書に「戸建て集合住宅による街づくり手法」等がある。

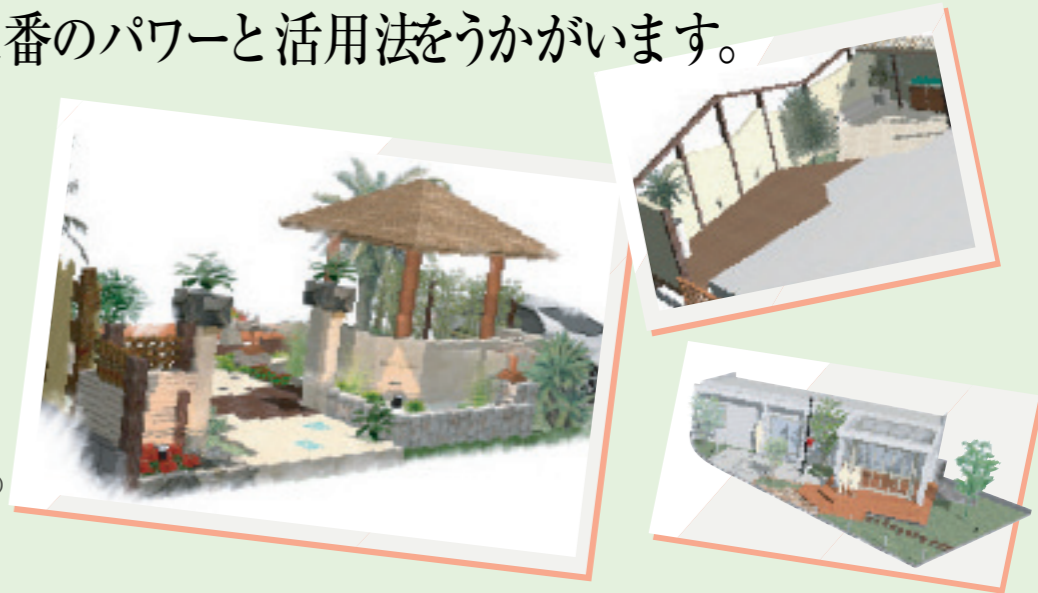
「スーパー御庭番の達人たち」...



どう使う? どう活かす?
ユーザー様のハイレベルな仕事ぶりをレポートし、スーパー御庭番のパワーと活用法をうかがいます。



有限会社 アールシーワークス
代表 杉田 勉 様
(ガーデンデザイナー・1級土木施工管理技師)



スーパー御庭番をフルに使いこなし、一般住宅から店舗まで幅広く手がける

平成2年に独立し、数年間は手描きで図面を描いていましたが、とにかく時間がかかるし変更が大変でした。それに、雰囲気のある絵が描けないのも悩みました。そこで9年前に御庭番を導入。おかげで図面描きの時間が大幅に短縮され、直しもラクになりましたし、なによりも、きれいに描けるようになったのが大きいですね。

うちは店舗の仕事も数多く手がけています。店舗の場合は、エクステリアだけでなく、インテリアも含めてプランすることが多く、新築の場合は建物全体の設計施工までまとめて引き受けることもあります。店舗を手がけるようになったのは、4~5年前、たまたま店舗のエクステリアのお話をいただいたとき、「統一感が大事だからインテリアもやらせてほしい」と申し出て、総合的にプランすることになり、それが好評だったのがきっかけです。その後紹介などで店舗の仕事はコンスタントに増え、現在では一般住宅が6、店舗が4ぐらいの割合です。

店舗設計の魅力は、住宅のキーワードが「くつろぎ」であるのに対して、店舗は「刺激」だということでしょうか。それはエクステリアでもインテリアでも同じで、住宅は、長く暮らすという視点や使い勝手などが大切になりますが、店舗はもっと直接的で新鮮なアピールが必要です。なので、両方手がけることは非常に刺激になりますし、つねに新しいヒントをもたらし、アイデアの幅を広げてくれます。

うちは営業から設計まですべて私1人でこなしています。営業活動としては、タウンページやホームページに告知をしていて、そこそこレスポンスはあります。ただ、やはり今まで手がけたお宅や店舗からの紹介のほうが多いですね。

今後は、一般住宅5:店舗5ぐらいにしていきたいと思っています。とくに店舗は広告塔のようなところがありますから、いろいろ冒険しながら認知を広めていきたいですね。

御庭番のパワー「リアリティと美しさで、お客様への説得力がアップ」

お客様にとって、エクステリアをつくるということは、まだ目の前にないものを買うわけですから、普通の買い物と違って「これを」というイメージがわきにくいものです。よくわからないものに数十万、数百万も払うとなると、どうしても躊躇されますね。ですから、プランニングの段階で相手をしっかり説得するには、リアルでかつ美しい絵が必要不可欠です。御庭番で描く絵には、まさにそのクオリティと説得力があるんです。いい絵が描けたときは、ほぼ100%お客様からOKをいただけますね。そういう意味では、本当に頼もしい相棒です。とくに私のように、1人でやっている、御庭番なしではとてもこれだけの仕事はこなせません。

「スーパー御庭番の達人たち」

有限会社アールシーワークス



【額のある壁】
庇のついた壁面がデザインのアクセントに。窓や壁面の縁取りに使われている小石は、バリから仕入れたもの。ディテールの一つひとつにもこだわりが。



【デッキ】
住まいの内と外をつなぐデッキ部分。壁が高いので隣家の視線も気にならず、木の風合いが暖かさや落ち着きをもたらしてくれます。



【テーブルまわり】
床は防湿の下処理をした上に、淡い色調のタイルを張ってあるので、コケやカビが生えることもなくなりました。アウトドアリビングとして休日のくつろぎに。

【全景】
ジメジメした裏庭がこんなに明るく変身！白を基調に、デッキや柱の焦げ茶とアイアン家具がアクセントになっています。

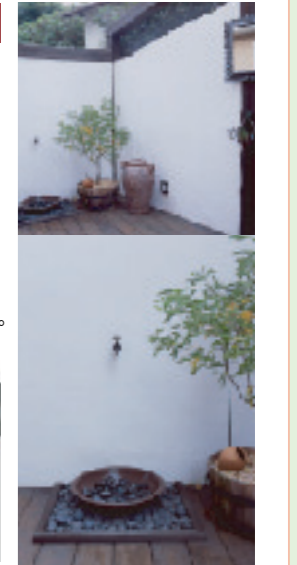


N様邸

ジメジメした裏庭を、明るい南欧風アウトドアリビングに



住まいの裏庭をリフォーム。もともと半分はウッドデッキ、半分は砂利敷きになっていましたが、隣家の石垣と接して日当たりが悪く、じめじめしてコケが生えるような場所でした。お客様からは、「カラッと乾いたスペースにしてほしい」「隣家との間に目隠しを設けて、くつろげる空間にしてほしい」とご要望がありました。そこで、地面にシートを敷き、防湿コンクリートを入れてかさ上げし、湿気が上がってこないようにしっかりと下処理。そして全体を白で統一して日当たりの悪さをカバーし、明るい雰囲気。カラーの基調は白+焦げ茶、アクセントにアイアンの黒。色数を少なくシンプルに仕上げることで、お客様の飾るものが映えるように配慮しています。隣家との境には高い壁を立ち上げて、庭というよりも部屋のようなスペースに。壁にアールをつけることで、空間に奥行きを持たせ、高い壁の圧迫感をやわらげています。床はテラコッタタイル張り、壁はしっくい仕上げで、所要所にバリで買い付けた小石などがあしらわれ、個性的な空間をつくっています。お客様は非常に満足され、第二のリビングとしてくつろいだり、お気に入りの絵画や小物を飾って楽しんでおられます。



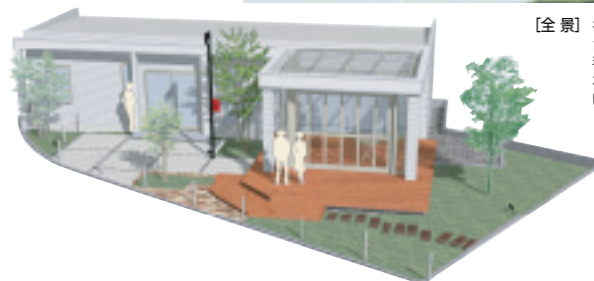
キャンピングカー販売のショールーム

開放的なデッキとサンルームで、お客様がしやすい雰囲気に

ショールームの建物内外+外構すべてを設計・施工。オフィス兼用なので、「シャープな感覚に」という注文が。そこで建物は直線的にして白で統一。エントランスはサンルームと木製デッキをあしらって、入りやすい雰囲気に。キャンピングカーは屋外に展示しているので、訪れたお客様が野外で商品を見てまわったり、デッキからショールームに気軽に入れる開放的な空間をつくりました。



【全景】
キャンピングカーのショールーム。シャープなラインと開放的な雰囲気が印象的。手前には商品であるキャンピングカーが置かれたスペースがあり、奥はオフィスになっています。



【サンルーム】
サンルームは「プレオーレ」を採用。ナチュラルな雰囲気、お客様をやさしくいざないます。



【全景】
バリの小物を扱う雑貨店。ヤシ葺きのあずま家が道路からひときわ目立って、店の存在をアピールしています。門や塀などをあえて直線的にしつらえることで、素材にすぎず、モダンな雰囲気を出しています。



「バリの雑貨店」

素材はすべてバリから直送…素朴+モダンな感覚が新鮮

建物から外構まですべてを設計・施工。バリから直輸入した雑貨を扱う店で、バリ風なしつらえの中にもヨーロッパのリゾートのイメージを加味して、より洗練された雰囲気に。道行くお客様の興味を引くために、道路沿いにはバリの伝統的なあずま家であるヤシ葺きの「ガジャボ」を建て、エキゾチックな外観でお店をアピールしています。建物はコンクリートで、表面はコテ荒らし仕上げで表情を出しています。建物や門柱、塀、アプローチの敷石など、あえてアールを使わずすべて直線で構成し、素朴さとモダンが同居する新鮮な空間をつくり上げています。石材や木材、小物など、素材はすべてバリのものを使用。庇にはバナナのロープを使用するなど、ディテールにもこだわっています。

【アプローチ】
天然石を敷き詰めたアプローチ。黒い小石は那智黒のように見えますが、フローレンス島でしかとれない珍しいもの。素材はすべてバリのものを使い、ひと味違う質感を出しています。

【入り口】
店のエントランス。石で囲んだ池がつくられ、気分はもう南国。石材と緑のバランスも美しい。



Garden Exterior



強度、優しい美しさ、快適性を兼ね備えた一般地域向け折板屋根カーポート

「カーポート G-1」登場!!

台風、地震など災害に備えて安心
耐風圧強度
標準で41m/s
相当を実現!!

※積雪地域向けもご用意致しました。
耐積雪量100cm・150cm

1. 優れた強度

屋根パネルには、積雪地域で多くの信頼を得てきた“折板屋根”を採用。梁や柱にも頑丈な部材を使用

2. 自在な展開

フレーム（柱・梁）延長タイプを設定。サイズやバリエーションも豊富に用意し、中間柱なしで間口8mに対応しました

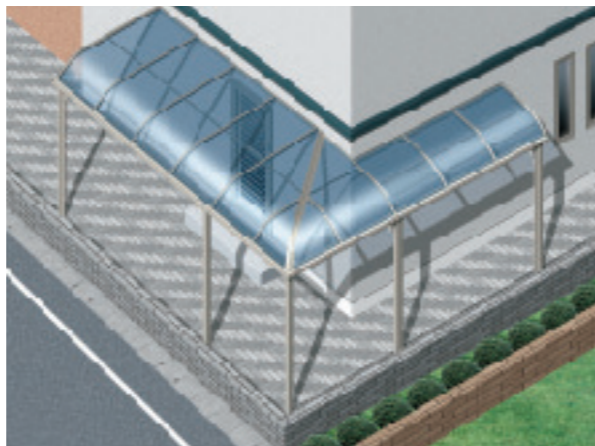
3. スッキリとした意匠

屋根枠・柱に丸みを持たせた優しい印象。商品全体の意匠を向上

Wall Exterior



前面台形納まり部材を用意、変形地にも対応。
グッドエバーFn型 前面台形タイプ



出隅納まりでも“出幅違い”に対応。
グッドエバー特注品 出隅幅違いタイプ

Public Exterior



支柱の目立たないスタイリッシュなフォルム
ユメッシュZ型 間仕切り支柱タイプ

不便 不安 不満 は、

リフォームで解決しましょう!!

暮らし快適 お庭のリフォーム提案

住まいの空きスペースを
有効活用

雨の日でも安心な物干し場を

「グッドエバー」でデッドスペースを物干しスペースに
庭の一部を利用し、テラスを設置して物干しスペースを創出すれば雨の日も洗濯物が干せます。又、ユーティリティスペースや直物の温室として、ステップを設ければ庭への出入りも楽々。



Before



After

雨の日も
雪の日も
ラクラクお洗濯

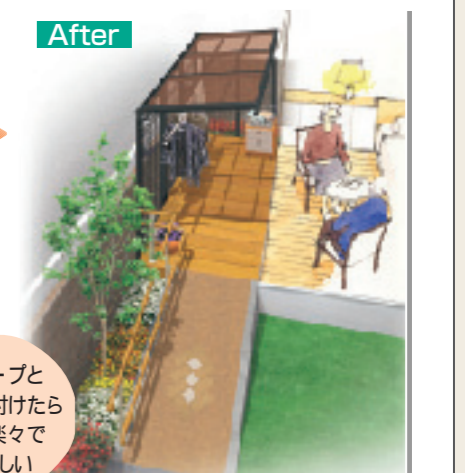
紫外線を
100%カット
してくれるのも
うれしい

こんなことも! 洗濯物干し場ともう一つの玄関を

ちょっとした空きスペースをランドリースペースに。年中洗濯物が干せ、家事もはかどります。外側にスロープをつければ「もう一つの玄関」となり、お年寄りの部屋に接して設ければ、気軽にご近所との交流が。



Before



After

もう一つの
お部屋が
出来たみたいで
うれしい。

スロープと
手摺を付けたら
出入楽々で
うれしい



東海・中国・四国御庭会 合同御庭会 (4月20・21日 浜松)

4月20・21日に、東海・中国・四国地区による合同御庭会が行われた。その後、中尾公子先生の講演会が実施された。講演会は「受注率100%のツボ」と題され、人と違う個性ある提案が競合に打ち勝つポイントであることや、多様な植栽の活用についての説明が行われた。その後、三御庭会の会員様同士で情報交換会が行われ、各地域の外構市場の状況や、今後の展開等について有意義な意見交換が行われた。翌日、浜名湖花博会場の見学を行った。

東北御庭会 研修会 (5月12日 仙台市民会館)

総会 (7月7日 仙台サンプラザ)

東北地区では5月に研修会として増田史男先生による講演が行われ、プレゼンボードの具体的な作り方などの説明があった。7月には総会が開催され、次年度の計画が発表された。あわせて当社の2004年春の新商品概要と、クレーム現場での対応方法についての説明が行われた。

スーパー御庭番 VER 6.1 リリース (2004.8)



3次元R塀(平面R塀+天端R塀)が、「笠木つき・くりぬきつき」で作図できるようになりました。

群馬御庭会 研修会 (5月26日 前橋支店)

群馬地区では、御庭番ユーザー様向けに研修会が行われ、新バージョンでの追加機能や、カラーシステムの詳しい操作方法について説明があった。また、メールを活用したデータのやりとりについての説明も行われ、有用な研修会となった。

栃木地区 御庭番研修会 (8月27日 ホテルフェアシティ)

栃木地区では、御庭番ユーザー様向けの個別研修会が行われた。操作上の疑問点に対する説明や御庭番に対する要望など、有用な研修会となった。あわせて、馬木浩重先生の講演会が行われ、作図専門のオペレーターにも現場を知ってもらうことが大切だという説明があった。

四国御庭会 総会 (10月14日 新居浜商工会議所)

四国地区では総会が開催され、今年度の報告、次年度の計画が発表された。また、あわせて古橋宜昌先生による講演会が行われた。講演会では、住宅の流行を意識してエクステリアデザインを考え、建物と調和するようなエクステリアが大切だとの説明があった。

御庭番スタッフ紹介

御庭番の導入で「ぼやっ」とした絵がクリアになり
お客様も「絵の通りになりましたね」と満足されてます。

秋田県 秋田市
株式会社 ナカガワ様



代表取締役 中川兼喜様



御庭番オペレーター
村岡店長様



御庭番オペレーター
山田様

私はこの業界に入って26年になりますが、ずっと手描きで図面を描いていました。しかし、手描きの図面やパースは、秋田弁で言う「ぼやっ」とした感じなんです。カタチがハッキリしないというか、イメージがくっきり湧かないというか。そこで5年前、思い切って御庭番を導入したんです。御庭番を使うと、細かいところまでハッキリと具体的に表現できますし、仕上がりがリアルですから、今までわかりにくかった「出来上がり図」がお客様にもイメージしやすくなったようです。最後の「寄り切り」がしっかりできて、成約も増えてきたという手応えがありますね。それに御庭番だと、手描きとは比較にならないほど直しが簡単なので、お客様からのご希望や変更をどんどん盛りこむことができます。ただ、なまじ細部までクリアに見えるせいか、細かい変更や追加が増え、こちらの仕事が増えたような気もしますが(笑)、その分お客様の満足度もアップしているのだから良いことだと思います。御庭番の操作は、専任のオペレーター(男性)が担当しています。研究熱心でセンスもよく、私がお客様から聞いてきたご希望を見事に表現してくれます。このチームワークが当社の自慢です。それに、当社の御庭番の使い方はちょっとユニークで、お客様との打ち合わせ段階では、白黒の絵だけ持っていく、それをたたき台にして話し合いを進めます。色がついていないほうが、お客様のイメージがぶくからむからです。そしてとことん話し合い、最後に色付けして提出します。そうすると「ああ、こういうふうになるのね」とお客様が感動し、納得して成約してくださるんです。そして実際に施工して完成したとき、お客様からよく「絵の通りになりましたね」と言われるんですが、これが一番の褒め言葉だと思っています。休日は……実は卸しの方もやっていて、展示場を2~3店持っているの、そちらの仕事もあり、休みがなかなか取れないんです。それでもたまの休みは、山歩きやバイク、あるいは釣りなどを楽しんでいます。まあ、それよりも、大好きなお酒を飲むのが一番のリラックス法かもしれませんね(笑)。

